

令和8年度 基本方針

課名	まちづくり課
職・作成者	課長 小此鬼 明
	課長補佐 長谷川 裕恭
	課長補佐 矢島 誠子

1. 本年度の目標

- 1 市民活動の活発化と市民との協働の推進
- 2 職員の資質向上および事業効果を踏まえた経費節減

2. 目標達成の課題

- 1-1 市民ニーズや費用対効果を考慮した事業展開や市民活動への支援が必要である
- 1-2 ライフステージに応じた学習機会の拡充が必要であり、市民活動を担う人材の高齢化への対応および新たな人材の育成が必要である
- 2-1 課題抽出や業務改善に積極的にチャレンジする職員の意識醸成が必要である

3. 重点施策

- 1-1 見附まつりや国際交流事業を社会情勢に即して見直し、将来へ持続可能な活動とするほか、各種団体と積極的に連携・協働するとともに、団体間のつながりを強化し、まちづくりを担う市民活動を支援する
- 1-2 地域コミュニティの活動に対し、目的の明確化や組織間の連携による効果的な事業形成を支援するほか、新たな財源確保や業務改善による効率的な運営およびコミュニティワゴンの有効活用をサポートする
- 1-3 学習人材バンクの充実や地域スポーツ・文化クラブの地域展開を担う人材の育成に努めるほか、公民館業務の精査・縮減を進めるとともに、団体や地域住民の参画による市民協働の生涯学習活動を拡充する
- 1-4 より多くの市民がスポーツ活動、文化芸術活動に触れる機会を創出できるよう、社会の変化やニーズに合致した支援を検討する。また市民や地域と連携しながら耳取遺跡整備事業の推進を図る
- 1-5 地域スポーツ・文化クラブの安定した運営体制構築に向け、関係団体と協議・検討を進めるとともに、地域指導者の資質向上と、地域クラブの持続可能な運営への支援を行う。
- 2-1 自主的に業務の現状把握、課題整理、効率化を進めるとともに、市民目線で業務改善や事業の企画・立案に取り組む職員を育成する
- 2-2 長寿命化や緊急性、安全確保の観点から適切な施設の修繕・維持管理に努めることに加え、費用対効果や利用実態を確認し、全庁的な公共施設の総量の最適化検討に取り組む。